

関連イベント **無料**

「浮世絵の摺り実演見学とワークショップ」

実演見学：職人が実際に浮世絵を摺り上げていく様子を間近でご覧いただけます。(約1時間)

ワークショップ：職人が使う道具を使い、はがきに版画を摺る体験ができます。作成したはがきは、お持ち帰りいただけます。

(実演見学終了後、当選者の方を順番にご案内いたします。)

開催日 平成30年11月10日(土)

申込方法

(1) 東京都立図書館ホームページ

東京文化財ウィーク2018参加企画展 関連イベント「浮世絵の摺り実演見学とワークショップ」のページからお申し込みください。

ホーム > 利用案内 > イベント一覧 > その他 > 東京文化財ウィーク2018参加企画展 関連イベント「浮世絵の摺り実演見学とワークショップ」のページ



(2) 往復はがき(1人1枚)

①希望する回 ②ワークショップ希望の有無 ③住所 ④氏名(ふりがな) ⑤電話番号 を明記の上、「〒106-8575 港区南麻布5-7-13 東京都立中央図書館 特別文庫担当」宛にお送りください。

申込締切 平成30年10月15日(月) (往復はがきは当日消印有効)



写真提供：高橋工房

- 時間** 1回目 10時30分～12時40分  
2回目 14時～16時10分
- 定員** 各回とも「実演見学」50名  
うち「ワークショップ」20名(いずれも抽選)  
※ワークショップのみのお申し込みはできません。
- 会場** 東京都立中央図書館 4階第3研修室

スタンプラリー開催

千代田区立日比谷図書文化館とのスタンプラリーを実施します。都立中央図書館と日比谷図書文化館の2館に置かれたスタンプを集めた方に、オリジナル筆箋を差し上げます。(なくなり次第終了)

千代田区立日比谷図書文化館 特別展  
「江戸から東京へー江戸城無血開城から東京の新たな夜明け」

**展示期間** 平成30年10月5日(金)～12月2日(日)

**展示会場** 千代田区立日比谷図書文化館 1F 特別展示室  
(千代田区日比谷公園1-4 電話 03-3502-3340(代))

休館日、開催時間等詳しくはHPをご覧ください。

<https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/>

司書によるギャラリートーク

期間中は毎日15時から、司書による展示の見どころ紹介を行います。

なお、音声ガイドもご用意しております。ぜひご利用ください。

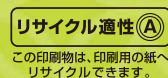
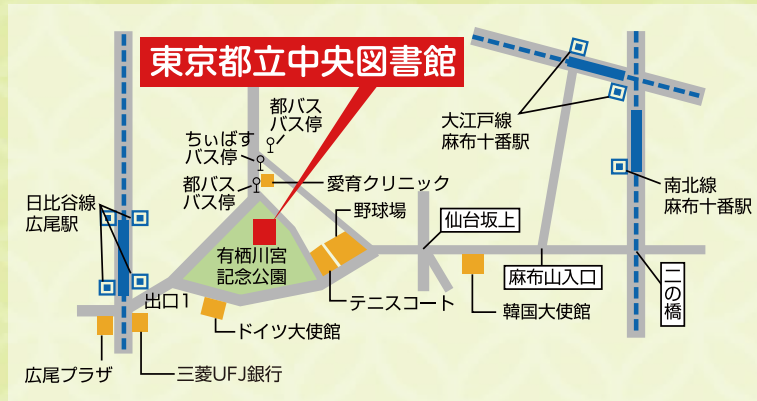
問合せ先



調査研究に役立つ豊富な資料・充実した調べもの相談サービス  
**東京都立中央図書館**  
〒106-8575 東京都港区南麻布5-7-13  
(有栖川宮記念公園内)  
電話 03-3442-8451(代表)  
<https://www.library.metro.tokyo.jp>

アクセス

- ・東京メトロ日比谷線 広尾駅 1番出口から 徒歩8分
- ・東京メトロ南北線・都営地下鉄大江戸線 麻布十番駅 徒歩20分
- ・都営バス 橋86系統(目黒駅前～新橋駅前・東京タワー) 愛育クリニック前 徒歩2分
- ・港区コミュニティバス(ちいばす) 麻布西ルート97 愛育クリニック 徒歩2分



リサイクル適性(A)  
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



毎年11月の第一土曜日は『東京都教育の日』です。

東京都立中央図書館「東京文化財ウィーク2018」参加企画展

# 大江戸プリント

第一会場

— 出版文化から見る江戸の世相 —

“Oedo-print”, the publishing culture in Edo -Find aspects of people's lives in Edo.



とうかいどうごじゅうさんつぎのうち 日本橋 ぎょうれつふりだし 行列振出 (歌川重画)

えどみやげのうち 「絵さうし見世」 (落合芳幾画)

同時開催「150年前の江戸・東京」(第二会場)

江戸城無血開城・上野戦争などに関する錦絵・古地図の複製を中心に、150年前の江戸・東京の姿を紹介します。

日時

平成30年 10月27日(土)から 11月11日(日)まで

休館日 11月1日(木)

月曜日から金曜日 午前10時から午後8時45分まで  
土曜日・日曜日・祝日 午前10時から午後5時30分まで

**入場無料**

会場

東京都立中央図書館 4階企画展示室(第一会場)・多目的ホール(第二会場)

Tokyo Metropolitan Central Library Gallery and Hall (4F)

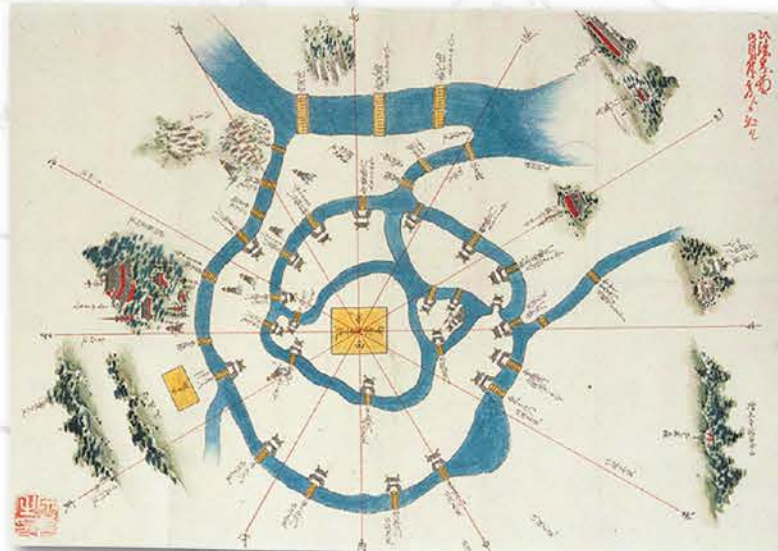
重要文化財  
(江戸城造営関係資料)  
も公開します!



江戸で花開いた出版文化に焦点を当て、時代とともに移り変わる江戸の姿や、江戸のシンボリック的存在であった江戸城について、当館所蔵の重要文化財を含む貴重資料をご紹介します。

## 第1章 江戸図の刊行 出版された最古の江戸図

江戸のまちの拡大に伴って、様々な江戸図が刊行されていきます。出版された江戸図としては最古とされる「武州豊嶋郡江戸庄図」などにより、その様子をご紹介します。あわせて、重要文化財の「江戸城造営関係資料」(甲良家伝来)を展示します。



こほんまるほういえず 御本丸方位絵図 重要文化財



えどじょうごほんまるごてんしゅかくがいめんのみず 江戸城御本丸御天守閣外面之図 重要文化財



ぶしゅうとしまごおりえどじょうず 武州豊嶋郡江戸庄圖

This exhibition sheds light on the publishing culture that bloomed in the Edo period. You will find various aspects of people's lives through our special collections. We also introduce Edo Castle, which was a symbolic existence of Edo, with our rare materials including Important Cultural Properties.

## 第3章 江戸の大変 ニュースとしての出版

幕末になると、出版は速報性のある媒体として使われ始めます。「大変」と呼ばれた災害や事件を記録した瓦版や、世相を風刺した浮世絵などをご紹介します。



おちぼしゅうぶくのず 『落葉集』「武具之図」 (ペリー来航に対する警備体制を風刺した絵)



なますかなめいし 鯰と要石 (鯰と地震の俗信を描いた「鯰絵」)

国立国会図書館の貴重資料を展示します!

ざんどうきょうでん さくしゅたいないとつきのず 山東京伝『作者胎内十月圖』自筆稿本 (国立国会図書館所蔵)

展示期間: 10月27日(土)~11月9日(金)

## 第2章 花開く出版文化 百花繚乱 浮世絵・書物の出版

出版技術の発展により、様々な浮世絵や書物が生み出され、人気絵師やベストセラー作家も出現します。ここでは、色鮮やかな浮世絵のほか、当時のベストセラー作家の滝沢馬琴や山東京伝の自筆稿本などを展示します。



もなかのつきいろくさばなうたがわとよくに 「最中月色の草花」(歌川豊国(3世)画)

## エピローグ 江戸から東京へ 変わりゆくまちと出版

明治元年(1868)、江戸は東京と改称され、東京府が誕生します。当時の様子は、浮世絵など様々な出版物にも残されています。また、新しいメディアとして、新聞のニュースと浮世絵を一緒に表した「錦絵新聞」も流行します。明治時代初期の記録類や出版物を中心に、江戸から東京へと変遷する様子をひも解きます。



とうきょうおわりちやうのみず つきおかよしとし 「東京尾張町之図」(月岡芳年画)



とうきょうにちしんぶん ひゃくじゅういちごう 「東京日々新聞 百十一号」 (落合芳幾画)